

1 審議会名	上田市環境審議会
2 日時	令和3年1月27日
3 会場	書面審議
4 出席者	末広繁和会長、丸山登志一副会長、丸山勝也委員、上原けさ恵委員、瀬上たか子委員、土川哲志委員、北嶋忠治委員、吉原泉委員、高橋伸英委員、丸山かず子委員、保母裕美委員、下城裕子委員、池田一弘委員
5 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
6 会議概要作成年月日	令和3年2月4日

協 議 事 項 等

1 議案

(1) 上田市地球温暖化対策地域推進計画（答申案）について

○ 賛否について

賛成：11名、反対0名（議決には会長は含まない）

○ 意見・質問等：次のとおり

(委員) 本計画を実行するためには、市民の理解と協力が必要不可欠なので、なぜ今行動しなければならないのか、私たちは何をすればいいのか、P28の家庭でできる省エネ行動など、わかりやすいダイジェスト版等で市民に周知してほしい。

(委員) この計画の趣旨・位置づけにあるように、脱炭素社会に向けて、市民・事業者・市が一体となって醸成していくことが大事と思う。そのためには市民への啓発が重要。市の施策はもちろんの事、一人ひとりがCO2削減に向けてできる取組の啓発に努め、持続可能な社会構築の機運を高めていくことが肝要と思う。

(事務局回答) 本計画の策定に併せ、概要版を作成する予定であります。また、計画の内容につきましても、広報等により、広く周知してまいります。

(委員) 西暦と年号がわかりづらいので、併記していただきたい。

(委員) P24のシェアリングエコノミーの説明文がわかりにくい。

(委員) P12～13の各ゴールに関連する基本方針の後の（）内の語句を基本施策に合わせた方が良くはないか。

(委員) P18,22の充電設備等の環境整備の主体を明確してほしい。

(委員) P23の「森林整備・緑化の推進」に第二次上田市環境基本計画中の森林資源の有効利用推進、地域資源の利活用に対応する内容を入れてはどうか。

(事務局回答) 御意見を踏まえ、修正いたします。

(委員) P9の温室効果ガスの排出の抑制等のための施策→温室効果ガス排出抑制のための施策に修正してはどうか。

(事務局回答) 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく計画であることから、同様の表現としています。

(委員) P22の「交通の低炭素化」は、「低炭素なまちづくり」が適切ではないか。

(事務局回答) 見出しの変更は大きな変更となること、低炭素なまちづくりに向けたひとつの手段として、交通の低炭素化を基本施策としていることから、原案どおりとさせていただきます。

(委員) P25の3R+Rについて、3R+2R（リデュース、リユース、リサイクル+リペア、リフューズ）と文章中に追加し、脚注を省いてはどうか。

(事務局回答) まずは 3R に徹底して取り組むことが重要と考えており、3R 以外の R の要素を多く入れてしまうと、3R の理念が伝わりにくくなってしまうため、このような表現としています。

(委員) 市民、事業者（環境保全団体）の役割を果たすために、市と連携し、自主的環境配慮の取組を期待する。

(委員) 本計画への意見ではないが、太陽光発電の普及促進は、上田市の地域特性を生かした取り組みですが、事業用の太陽光発電については、災害の恐れがある場所への設置などが懸念されるため、より細かな法規制等が必要。

## (2) 環境レポートの報告について

(委員) P2：バスや電車に関して、新型コロナウイルスに対してどんな予防策をしているのか教えてほしい。また、市民に伝えてほしい。

(事務局回答) 公共交通運行事業者においては、安心してご利用いただくため、乗務員のマスク着用や車両の清掃消毒、換気、抗菌・抗ウイルス施工などの感染拡大防止対策を実施しています。  
なお、市のホームページでは各事業者の取組や公共交通機関の安全な乗り方を周知するとともに、各事業者においても、車内や駅構内への掲出やホームページ、新聞などのメディアを通じて感染防止対策の取組みについて周知しています。

(委員) P2：レンタサイクル利用者数について、周辺地域において周知が薄いように思う。

(事務局回答) ここに記載のレンタサイクル利用者数は、上田駅前設置しているレンタサイクルの利用者数になります。

また、別所線の下之郷駅や別所温泉駅、真田地域にもレンタサイクルを設置しておりますので、ホームページ等を通じて周知に努めてまいります。

(委員) P8：多自然水路・多自然河川とはどのようなものか。

(事務局回答) 多自然水路とは、水辺環境の多様性、生物の生息場所及び移動経路を確保できるように整備された水路のことです。

多自然河川とは、治水上の安全性を確保しつつも、生物の良好な生息・生育環境を極力改変せずに自然環境に配慮して整備された河川のことです。

(委員) P8：水生生物調査の参加者は募集しているのか。

(事務局回答) 公民館事業等により、参加者を募り水生生物調査を実施しています。また、生活環境課において、職場体験などを通じて水生生物調査を実施しております。

(委員) P12：一人あたりのごみ排出量について、コロナ禍でごみの排出量が増加傾向にあるようだが、せっかく生ごみ減量化が浸透してきたところなので、このまま増加が進まないよう啓発が必要と思う。

(事務局回答) ごみ減量化機器の購入補助や生ごみ出しません袋の配布、やさいまる事業など、引き続きごみの減量に向けた施策を推進し、市民の皆さんにご理解・ご協力いただけるよう啓発に努めてまいります。

(委員) P12：残さず食べよう 3010 運動推進協力店登録数は上田市全体からみて多いか少ないか。

(事務局回答) 上田市全体から見るとまだまだ少ない状況にあると考えております。引き続き、登録数の増加に向けて啓発してまいります。

(委員) P16 : 雨水貯留槽は事業者用か家庭用か。また、貯めた雨水は何に使えるのか。

(事務局回答) 雨水貯留槽は、家庭向けに平成 16 年度から支援を行っております。

貯めた雨水は、草木への水やり、庭の散水などに使用でき、災害等による断水時には生活用水としても利用できます。

(委員) P18 : 街路樹の植栽延長は、人口減少や高齢化とどのような関係があるのか。

(事務局回答) 街路樹は地域との連携により管理をしている箇所もありますが、人口減少や高齢化に伴い、管理協力者が減少するなどの問題が顕在化しつつあります。

(委員) P24 : まちづくり活動拠点はどのような場所か。

(事務局回答) 各種市民団体などの情報交換、交流、活動の場として利用していただける場所として、豊殿地域自治センター、塩田地域自治センター、川西地域自治センター、城南公民館、西部公民館、神川地区公民館に設置しています。

(委員) 写真等を入れて見やすい環境レポートになればいいと思う。

(事務局回答) 今後の作成にあたり、参考とさせていただきます。

以上